

モーリシャス豆知識・小話 第8号

2017年12月
在モーリシャス日本国大使館

(1) 選挙とアルコール

先般パリ出張があり、出発前に友人へのお土産にラム酒でも買うかとスーパーに行って驚きました。なんとお酒コーナーがバリケード封鎖されているではありませんか！ちょうど国民議会議員補欠選挙が行われる週末だったことから、こうした措置が取られたようですね。この平和な国で、お酒飲んで暴動でも起こす輩を心配しているのかな。私自身は過去在勤した他のアフリカ諸国でもこうした処置を見たことがなかったのでこの徹底ぶりに面食らいました。まあしかし、それを見越してアルコールを買いだめした人たちにとっては痛くも痒くもなかったでしょうが。なお、選挙には1,500名の警官が動員されたそうです。

補選でさえこれだと、総選挙のときは一体どうなるのでしょうか。確か2年後の2019年だったような。皆さん、選挙期間中は（それに限らずですが）気をつけましょう。

それにしても、選挙後即日開票されたわけでもなく、翌日になってもすぐには結果発表されることもなく、隣国セーシェルから選挙監視員が来ていたなど、こういうところはアフリカらしさが垣間見えた感じです。



スーパーのお酒コーナー

(2) モーリシャス…県

事務所を出た仕事の帰り道、いつも高速道路をすっ飛ばしていく車を見送しながら思います。こんな小さい島でそんなに急いでどこ行くの？どんなに急いだってその先はすぐに海でしょ、と。実際、モーリシャス島の面積ってどれくらいなのでしょうね。国土面積（2,040 平方 km）は大体東京都と同じと覚えておられる方も多いでしょう。しかしこれは総面積。モーリシャスにはロドリゲス島やアガレガ諸島などあり、（まあいずれにしろ小さいですけど）それらを差し引いた我々が住んでいるモーリシャス本島の面積は1,865 平方 km だそうです。それはちょうど日本で一番小さい県（1,877 平方 km）である香川県と同じ大きさ。小さい・・・。

人口を見ても、国全体でやっと約 126 万人。これは県別でも下位に入る青森県（31 位、127.8 万人）や岩手県（32 位、125.4 万人）と同じくらいらしいです。それを考えると、独立国として自律的な政治経済運営をやっているのに感心するわけです。

汚職はあるわ、麻薬取引は横行しているわ、最近ではパラダイス文書のおかげで EU などからタックスヘイブン地域として限りなくクロに近いグレーな国として見られるなど散々ではありますが、国際場裡でキラリと光る一定の存在感をみせているのも事実。世界の小島嶼国の星として頑張っって欲しいものです。たとえシンガポールやルクセンブルクのように経済力のある近隣諸国に恵まれなくても。カーボヴェルデのように絶海の孤島のような地理的条件にあっても。来年独立 50 周年を迎えるこの国が、小さくても誇り高く生きていくさまを応援したいですね。

